

助成者	岩崎 慎平	活動期間	2025年4月～2028年3月（予定） 活動中
所属機関	ラムサールセンター	職名	会長

インド国ビタカニカ湿地におけるワニとの共生に向けた環境再生と集落ぐるみの獣害対策

【活動場所】 インド オディッサ州 ビタカニカ湿地

【事業目的】 野生動物保護区に指定されているインド東岸のビタカニカ湿地は、海とつながった汽水域ならではの生物多様性豊かな場所で、湿地内に300以上の集落が点在している。同湿地内に生息するイリエワニは保護の対象とされ、かつ気候変動による海面上昇や河川氾濫と相俟ってワニ個体数の増加と生息分布が拡大し、ワニによる獣害（過去10年で約50名死亡）が報告されている。本事業は、ワニとの共生に向けた環境再生と集落ぐるみの獣害対策を実施し、事業前の獣害被害半減を目指す。

野生のイリエワニ



コミュニティ池で家事・入浴／氾濫時にワニ侵入



【活動内容】 ～3エリアに分け、毎年1エリア20集落を対象に下記活動を実施～

- (1) 獣害モニタリング
 - ・集落毎に選定した湿地チャンピオン2名に森林局職員が加わりSNSを用いて実施
- (2) 被害予防の住民啓発
 - ・対象エリアにワニ対策事業委員会を設置し、定期会合を実施
 - ・森林局がコミュニティに配置した生態系発展委員会メンバーと森林局職員も招聘して活動内容を共有
 - ・環境アウェアネス教育センター（CASE）を5ヶ所設置し学生を対象とした獣害教育を実施。
 - ・ワイズユースワークショップの実施
- (3) 生活圏内のワニ侵入防除
 - ・ワニ侵入防除フェンスを5ヶ所設置（住民や政府関係者と知識を共有しフェンス設置拡大を養成する）
- (4) 生活圏外の生息地保護
 - ・ワニ生息地におけるマングローブ植林（1万本・2ha）